

臨床研究へのご協力をお願い

当院における乳癌に対する乳房部分切除症例の切除断端状況と局所治療の選択因子に関する検討

(研究目的)

乳癌に対する乳房部分切除において、切除断端陽性例は、陰性例に比べ、温存乳房内局所再発率が高くなることが知られています。そのため、当院では、手術中に、迅速診断にて断端陰性を確認しています。しかし、術後に断端陽性が判明し、再手術または放射線治療のブースト照射を要することになった症例もあります。本研究では、術後に断端陽性が判明した症例の特徴などを分析し、今後の乳房部分切除後の局所治療の標準化に役立てることを目的としています。

(研究対象)

2010年～2022年に当院で乳腺部分切除を行った約300症例。

(研究期間)

松江市立病院倫理委員会で承認後～2023年12月31日まで。

(研究方法)

診療記録や病理結果などを分析していきます。

(情報の保管・管理)

研究データは、松江市立病院内で厳重に保管します。

(利益相反)

なし。

(研究成果の公表)

研究成果は、日本乳癌学会等の学会や論文によって発表する予定です。

(問い合わせ先)

研究への協力を希望されない場合は、下記問い合わせ先まで連絡をお願いします。

松江市立病院

乳腺・内分泌外科 内田尚孝

電話：0852-60-8000